

コード	401060106
記入日	H21.6.8

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田均
担当者	古木文雄

作成年度	平成 21 年度
------	----------

事務事業事後評価表

評価対象事業名称	新商品開発事業
----------	---------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40106	基本事業名称	魅力ある漁村づくり	目コード	2
事務事業コード	4010601	事務事業名称	水産業振興事業補助金費(漁村づくり)	細目コード	1081
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)		※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標						
(対象1)		漁業協同組合	(対象指標1)		1 組合				
(対象2)		漁業者	(対象指標2)		512人				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
***		水産ブランド「五島箱入娘」の一つであるヤリイカの専用トレイの開発、及び偽造防止のタグの開発を行った。	***	***	***	*****	***		
			補助金交付件数	1件	100%		平成20年度		
			①	(達成率分析)	計画どおり補助金を交付した				
			②						
			(達成率分析)						
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)						
①専用トレイの開発及び作成 五島箱入娘の主力商品であるヤリイカの専用トレイを開発することにより、イカ墨除去を施したヤリイカの高級感を出し魚価の向上をはかる。 ②タグ(魚体用)開発及び作成 食品偽装が問題になる最近、ブランド確立後の商品の管理を重要視し偽造防止を含めたタグの開発を進める。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
			***	***	***	専用トレイの開発及び作成	***		
			トレイ・タグの開発	1 式	100%	タグ(魚体用)開発	平成20年度		
			①	(達成率分析)	上五島町漁協独自のヤリイカ専用トレイと「五島箱入娘」偽造防止タグが開発実用された。				
			②						
			(達成率分析)						

実施 (DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
		計画	実績	実績	計画 実績
活動指標	① 件	1	1		1 1
	②				
成果指標	① 式	1	1		1 1
	②				
総事業費 C (A+B)		千円	2,700	2,700	2,700 2,700
直接事業費 A		千円	2,000	2,000	2,000 2,000
人件費 B		千円	700	700	700 700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1 0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000 7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円			
	県補助金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	2,000	2,000	2,000 2,000
一般財源		千円	700	700	700 700

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	水産業振興のため水産ブランド立ち上げ、漁家所得向上を図るため必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	魚価が安い時代情勢の中において、魚価の向上を図るためのブランド化事業の推進は、必要性がある。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	ブランド化のアイテムとしての新商品開発は、目的として適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	独自のブランド化の戦略のアイテム作りを達成することができた。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	大学などに研究を委託するなど事業として、成果を向上させる余地は無い。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	魚価が低迷する中、漁業者離れが加速することが考えられる。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	単一事業であり関連する事業は無い
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	実施計画を精査した上で削減する余地は無い。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	人件費削減を考慮した。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	補助金実施要綱に沿って受益者負担を行っている。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 なし
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	ブランド力の向上のためには必要であり、今後広くPRすることにより生産・販売につなげていくこと。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。